

平成 17 年 1 月から平成 27 年 6 月までに川崎医科大学附属病院小児科に肺炎で入院された患者さんへ。

課題名：入院治療を要した小児肺炎における抗菌薬の有効性と安全性の後方視的検討

当教室では川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、倫理委員会の承認日平成 27 年〇月〇日から 2 年間の間に、当院小児科に入院された肺炎の患者さんを対象に、適切な抗菌薬使用を検討するための後方視的研究を行います。

この研究は、治療介入を伴わない「疫学研究」で、既存資料（年齢、身長、体重、基礎疾患の有無、入院期間、発熱期間、抗菌薬投与期間、解熱時間、血液検査、微生物検査、画像検査、薬剤の副作用、抗菌薬の他に併用した薬剤）のみを用いた研究であるため、新たに人体資料は採取しません。

対象となるのは、平成 17 年 1 月から平成 27 年 6 月までに、肺炎の病名で当院小児科に入院し治療を行った患者さんです。

研究するために必要な資金をスポンサー（製薬会社など）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねないことを利益相反状態といいます。この研究は教室費のみ使用します。研究課題を実施する関係者には JCR ファーマ株式会社、大正富山医薬品株式会社、帝人ファーマ株式会社、ファイザー株式会社、田辺三菱製薬株式会社、MSD 株式会社、第一三共株式会社、塩野義製薬株式会社、ジャパンワクチン株式会社、Meiji Seika ファルマ株式会社より奨学寄付金の受け入れ、大正富山医薬品株式会社、ジャパンワクチン株式会社、旭化成ファーマ株式会社、MSD 株式会社、Meiji Seika ファルマ株式会社、アステラス製薬株式会社、ファイザー株式会社、田辺三菱製薬株式会社より報酬・謝礼・原稿料などの受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。尚、いずれも本研究課題には直接関係はない企業です。

研究成果は学会や学術雑誌に発表することがあります。しかし、匿名化を行った後に解析されますので、個人情報外部に漏れることはありません。また、資料の取り扱い当教室のみで行い、外部に提供されることはありません。